

まってるすけ高柳

～「荻ノ島かやぶきの宿」にて研修中の橋本紫乃さんからのご報告です。～

☆みなさん、はじめまして。昨年より荻ノ島の住民となりました橋本紫乃と申します。宜しくお願ひ致します。同じく新潟県の新発田市出身。高柳へ通うようになったのはここ5年ほどです。そんな5年のなかで、ご縁が重なり、結婚を機にこちらへ来て、私はいま「荻ノ島かやぶきの宿」で研修生としてお仕事をしております。宿の近況報告と、暮らし始めて半年を経たばかりの気持ちを綴らせていただきたいと思います。

○平成5年より運営がはじまった「荻ノ島かやぶきの宿」荻の家と島の家との2棟があり、ご家族やグループでのご利用で賑わいます。居心地が良いと常連の方もいらっしゃいます。しかし、ここ数年は感染症の影響もありご宿泊の数は減っています。そんな落ち着きのある今を良い機会に、空気清浄機や除菌の機器、テーブルやベッドなどの宿の備品を新しくして、雰囲気を更新中です。また安心をしてご宿泊して頂けるよう準備を整えております。

○ゆくゆくはお料理も提供したいと、先日は荻ノ島のお母さん方をお願いをして、一緒に料理をする機会を頂きました。ひとつひとつの工程に美味しさを目指した理由があり、調味料も決まったものだけ。それでいて滋味深く、まさしく御馳走。台所だけでは完結しない、季節仕事の積み重ねがこの味になるんだなあ。お料理もさることながら、暮らしから教わらねばと身が引き締まる時間でした。ありがとうございました。



←島の家にはいったダイニングテーブル

○お宿の情報や荻ノ島の活動を、フェイスブックやインスタグラムで発信中です。ぜひ覗いてみてください。 (インスタグラム→)



アツアツのに-がなこ→



(荻ノ島裏面に続く)